



奈良



奈良 ならまち

燈花会 法隆寺西の京 定期観光について

《ならまち》

私の中で「ならまち」は京都の新京極の様な、お店がたくさん並ぶ賑やかなイメージがありました。

実際行ってみると、イメージとは違い**ゆっくりと静かな時間**が流れていて、建物や雰囲気からは昔の懐かしさを感じました。

お店も「いかにもお土産屋さん」ではなくこじんまりとしていて親しみやすく人の温かさに触れる事が出来ました。

今回昼食に「**奈良町 豆腐庵 こんどう**」様の「雪 豆腐堪能コース」をいただきました。

表から見ても落ち着いた雰囲気、中に入ると最近なかなか見る事のできないレトロな扇風機や電話室があり、田舎のおばあちゃんの家へ来た気分でした。

そして、いよいよ豆腐コースです。

最初「おなかいっぱいになるのかな？」と思っていたのですが・・・種類の多さにビックリしました。

もちろんどの料理にも豆腐が使われていて、ひとくくりに「豆腐」と言ってもそれぞれが全く違う味・食感で豆腐ってこんなに種類あったっけ？と思うくらいでした。

また「湯豆腐」だけみてもまずはそのまま、藻塩、ゆず胡椒、割り醤油といろんな味が楽しめ、更に豆乳のだしも豆乳が苦手な方でも飲めそうな、なめらかで甘味のあるやさしい味でした。

コースの中で私が1番気に入ったのは・・・「栗と蓬の生麩田楽」です。

今まで生麩がそんなに身近なものではなかったので「麩」＝お鍋に入れる柔らかいのも・・・と思い込んでいました。

しかしこちらの生麩田楽、外は油で揚げたサクッとした歯ごたえで、中はつきたてのお餅のような「ふわっ」として、でも粘りのあるもちもち感でした。

1品だけみてもこんなに強い印象を与えるおいしい料理が何種類も出で、食べきれないくらいのボリュームにも大満足でした。

昔ながらの町並みの中で新しい物もたくさんある「ならまち」。

実際に行くと貴方の思う「ならまち」のイメージがきっと変わるはずです。

《 定期観光 ライトアップコース「なら燈花会と老舗菊水楼」 》

JR 奈良駅と近鉄奈良駅からの定期観光バス。

まずは「老舗 菊水楼」での夕食です。

旅館・料亭としても知られていて明治時代に作られた木造3階建ての本館に入ると歴史を感じる廊下や階段があり「老舗 菊水楼」を強く感じました。

今回夕食は「和食」をいただいたのですが、仲居さんが運んでくれる料理のどれもが上品で見た目にも綺麗なものばかりでした。野菜や魚が中心のお料理で奈良の郷土料理を食べる事が出来ました。

食事が終わり菊水楼を後にする頃にはすっかり暗くなってきていて、やわらかい灯りに包まれた建物は到着の時に見た外観とは違う印象でした。

お腹がいっぱいになったところで、本日のお楽しみ「なら 燈花会」です。

燈花会は奈良に集う人々の祈りをろうそくの灯りで照らし出す行事。

1999年から始まった「なら燈花会」は今年で10回目。

2万個ものろうそくの灯りで彩られたそれぞれの会場は昼間とは違う落ち着いた癒しを与えてくれます。

そして、この燈花会見るのはもちろん、「一客一燈」という形で誰でも参加することができます。

一人の祈りを込めた灯りは小さいけれど、たくさんの人たちが参加することによりたくさんの灯りに照らされて大きな祈りとなってこれからも続いていくのだと思います。

奈良の地にぴったりの優しくて温かい灯りが、たくさんの人々の心を和ませるにちがいありません。



そして最後に「新日本三大夜景」にも選ばれた「若草山」からの夜景です。

若草山ドライブウェイを登り少し歩くと・・・そこには何も遮る物がなく淡い光が辺り一面に広がっています。都会の夜景のように眩しいくらいの光ではないけれど、ずっと見ても飽きない優しい光が「新日本三大夜景」に選ばれた理由ではないでしょうか。

定期観光 世界遺産コース 「法隆寺西の京」

このコースは法隆寺→中宮寺→慈光院→薬師寺→唐招提寺→平城宮跡・朱雀門を朝10時から夕方まで1日コースです。



まずは「**法隆寺**」。

学校で習った時には教科書で見て名前を知っているくらいで、修学旅行で行ったのか行ってないのかも覚えていないくらいでした・・・。

しかし、今実際に目の前にすると「すごお〜い!!!」を何度も言っている私がいきました。

法隆寺境内はとても広く、建物もたくさんありそれぞれに深い意味を持つものばかりです。

最初はそこまで深く知らないし、自由行動があっても一通り見てすぐに終わるだろうと思っていたんですが、いざ自由行動になると半分も見ない間に結構な時間が経っていて自分で思っているよりも熱中していました。

法隆寺の後、「**慈光院**」へ移動しお坊さんの説経を聞きながらお抹茶とお菓子をいただきました。徳島ではなかなかお抹茶が出るお店に入る機会もなく、覚えている限りでは今までで初めての体験でした。お抹茶は苦いイメージがあって飲めるのか心配でしたがお茶菓子をいただきながらお抹茶を飲むと苦味もあるけれどお茶菓子の甘さで苦味が抑えられてとてもおいしくいただきました。

次の目的地「**薬師寺**」。南門・中門を抜けると目に入るのは金堂、東塔、西塔。

東塔は国宝だけあって長年奈良の町を見てきた、繊細さの中にもどっしりと構えた印象を受けました。

「**唐招提寺**」は今回金堂が修復工事の為に周りからの拝観となりました。

しかし周りからだけでも立派な造りに自然と吸い込まれてしまいました。

そして周辺に咲いているピンク色の蓮の花が緑の中で一層奇麗に咲いていました。

あとがき・・・(…)

この2日間を通して、奈良の地で感じた事・・・

日本の古い歴史を大切に守り続け、歴史の中にも新しいものを生み出す力強さ。そして静かでゆったりとし、人の温かさに触れられる場所・・・。

いろんな表情を持つ奈良を、貴方はどんな風を感じる事ができるでしょうか？